

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター

住所：名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎1階

TEL：052-954-6722

FAX：052-954-6993

開館：月曜～金曜 10時～17時



タイトル「イヌ」



しおたにこ
塩田二虹さん（6歳）

《相談対応日について》

平成30年4月から

火曜・木曜・金曜

10時～17時（祝日・年末年始除く）

※上記以外の平日についてもスタッフは常駐しております。相談対応専門スタッフもおりますので、お気軽にご相談ください。

《もくじ》

新年度にあたってのご挨拶・・・2

2018年度の主な取り組み・・・2

東日本大震災追悼式・・・3

5月イベント情報・・・4

募集中！・・・4

新年度にあたってのご挨拶

年度の変わり目のこの時期は、卒業や入学、職場での異動など、慌ただしくされた方もあったと思います。皆様お元気にお過ごしでしょうか。当センターも7年目の開設となりました。昨年度からの変更としましては、センター開設当初から長きにわたりご一緒いただきましたNPO法人「ボラみみより情報局」が昨年3月末で「卒業」されました。そのため、皆様とも顔なじみになったり、電話対応させていただいたりしたスタッフの一部が退職しました。今までいた者がいなくなるということは寂しい気持ちもありますが、それぞれの新しいスタートにエール

を送ったところです。

一方、センターの年間業務については大きな変更はありません。今年度も皆様方のお困りごとや各種ご相談に、できるだけ近い存在として、また被災地の現状や各種支援情報などをタイムリーにお届けできる存在として、引き続きのスタッフ一同が精いっぱい対応させていただく所存です。皆様方も当センターに足をお運びいただくなどして、ぜひ「今の声」をお届けいただき、真の復興について共に考えていきたいと考えています。

今年度もよろしく願いいたします。

(愛知県被災者支援センター長 栗田 暢之)

2018年度の主な取り組み

電話・来所にて相談対応します。

「仕事や家計のことで悩んでいる」「精神的に不安定な日が続いている」などお困りごとのある方は、電話または来所にてご相談ください。必要に応じて、相談機関をご案内する場合があります。

時間 10:00～17:00

曜日 火曜、木曜、金曜

※スタッフは月曜、水曜も常駐しております。

集いの場をつくります。

子育て、介護、引越し、食、趣味などについて、同じテーマで集まり、情報交換ができる場にしたいと考えています。

「〇〇について一緒に話しをしたい」「△△を経験している方から話しを聞きたい」という方は、希望する内容を教えてください。今後の「あおぞら」で、参加者を募集します。会場は、愛知県被災者支援センターで、開催日は皆様と相談のうえ、決めていきます。

交流相談会を実施します。

愛知民医連との共催で、甲状腺エコー検診&交流相談会を今年度も開催します。福島県に限らず、岩手県、宮城県、関東から避難されてきた方も参加できます。各種相談対応しますので、これまで参加したことがない方もぜひご参加ください。

被災地の新聞を閲覧できます。

当センターでは、岩手日報、河北新報、福島民報、福島民友の4紙を取り寄せています。現在、各避難元の新聞スクラップを定期便でお送りしていますが、「もっと情報を知りたい」「他県の新聞も読みたい」という方は、ぜひお越しください。その他にも、広報紙や冊子を配架しています。

東日本大震災追悼式



▲午後2時46分 黙とう（矢場公園にて）

「追悼式を被災地外で行う」ことの意味を問うところから始まった『東日本大震災犠牲者追悼式 あいち・なごや』を行いました。5回目となる今年にはよく晴れて、3月上旬にしては暖かい日でした。今年も東日本の方角に向かって設けられた献花台を前に黙とうし、「東日本大震災があったことを忘れていません。被災者の声に耳を傾け、私たちの備えを怠りません」と、参列した全員で宣言しました。1500人の参加者がありました。



▲献花台に飾られた千羽鶴

手向けられた花▶



式を行うことで、実行委員である各団体のメンバーやキャンドルを並べるなどの当日ボランティアの方々と顔を合わせるのは当然ですが、お約束してはなくても県外避難者の方々にお会いできることは、公の場で誰でも来られるスタイルで実施しているからこそと思っています。何気ない

話を交わすこと、笑顔であいさつできることは、嬉しいです。逆に、例年お会いする方にお会いできないと、「お元気かな」と思います。その向こうには、家族だけで過ごされる方も。それぞれの一日を過ごされていることを想います。

実行委員会とは、硬い名前ですが、半年前の9月から、メンバーが月に一回のペースで集まって、ゆるゆると和やかに段取りを決めていきました。何もかもが手探りだった最初の年と比べると、スムーズに決まるようになりました。年を重ね、「顔見知り」から、文字通り「共に行動する仲間」になってきたからだと思います。



▲キャンドルで「追悼 東日本」の文字が浮かび上がった

追悼式に先立つ2月末に、東北3県を訪問しました。その中で忘れられないのが、『「帰ってきたんですね』の一言でくくらないでほしい』という訴えでした。「元の家に戻るも、違う場所に戻るも、県内に留まるも、県外に避難するも、一人ひとりの決断があって選んだ『今』なのだから」と。はっとさせられました。

毎年、自分の力はなんと小さいのだろう、宣言に値する行いなどできていないじゃないかと思ってしまうのですが、気持ちを新たにすることも、無意味ではないと自分を納得させて、来年にバトンをつなぎます。

（東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや実行委員長 浜田ゆう）

5月イベント情報



新年度が始まって、1ヶ月ほどが経ちました。気持ちを新たに、新しいことに挑戦してみませんか？ウォーキングにパッチワーク、さまざまな交流会があなたを後押しします。

開催日	イベント名	内容（主催）	最寄駅
16日(水)	里山を歩きましょう	東山の森を散策 (NPO 法人 HAT-J)	地下鉄 「東山公園」
12日(土) 26日(土)	パッチワーククラブ	ポーチやバッグなどの制作 (NPO 法人レスキューストックヤード)	地下鉄 「久屋大通」

※イベントの一部を掲載しています。その他のイベントや申込先などの詳細は、同封（前月号に同封している場合もあります）のチラシをご覧ください。

募集中！

《表紙の絵/作品/写真》

①絵/作品/写真のタイトル、②簡単な説明、③掲載する氏名またはペンネーム、年齢、④連絡先（氏名、メールアドレスまたは電話番号）を明記のうえ、メールまたは郵送にてお送りください。

《あおぞら編集委員》

編集会議は、掲載内容を決めたり、記事を書いたりするだけではありません。日々の暮らしや関心事など、話題に富んだ情報交換の場にもなっています。興味のある方はお問い合わせください。

問合せ先・送り先

●TEL：052-954-6722

●E-mail：aозora@aichi-shien.net

●住所：〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎1階

メールフォーム➡



編集後記



- ・これからは外出が楽しみな季節。山菜採りさかな釣り…。おっと、勉強！勉強！何の勉強？(H.I)
- ・愛知淑徳大学での「春休みを一緒に楽しくすごそう(勉強会)」に参加しました。マンツーマンで学習をみてもらえて助かりました。勉強後もそれぞれが喜びそうな遊びをして下さり、子ども達も笑顔がいっぱいで嬉しそうでした。(Y.Y)
- ・最近着物をもらいました。知り合いの着物屋さんで「着物と靴、帽子などの組み合わせは全然おかしくないよ」と教えてもらって気楽に折を見て着ています。(H.T)
- ・今年も濱田農園産直大豆の味噌が仕込めました。酵母菌のおかげでおいしくなります。(K.T)
- ・新緑が美しいですね。木漏れ日が写るように写真を撮るのが楽しいです。(H.S)